

「議員のなり手不足への対策はあるのか」など

議会基本条例に基づき、10月23日から25日まで町内5会場で議会報告懇談会を開催し、町民56人が参加して意見交換を行いました。
おもな内容は次のとおりです。

【議員のなり手】なり手不足への対策は

問 来年は町議会議員の選挙がある。議員のなり手不足が懸念されるが、どのように考えるか。

答 全国では報酬を上げるなどをする市町村もあるが、そもそも議員がどんな活動をしているかわからない人も多いため、議員の役割をもっと知ってもらう必要があると思う。すぐに解決

できる問題ではないが、住民の意見を反映させていくために必要な仕事と理解をいただけるように努力したい。

【議員研修】研修内容を町民に直接報告してはどうか

問 議員研修の内容について、研修後に、その都度懇談会などを開催し町民に報告するのはどうか。

答 研修後は報告書をまとめ、議会だよりに掲載し、議員でも話し合っている。町民の方へは、この懇談会で報告させていただいている。

【傍聴者数】増やす工夫を

問 議会の傍聴者が少ないと感じる。傍聴者数を増やす工夫が必要ではないか。

答 一人でも多くの方に来ていただけるよう努力していきたい。

【空き家】有効利用する方法は

問 町の空き家を有効活用してほしい。町が買い取って安く売るなど再利用する方法はないのか。

答 町では空き家を代執行で取り壊しが可能であるが、仮にそれを行った際に持ち主が費用を払えないということになりかねない。町では代執行を行ったケースはない。

【雇用】町の障がい者雇用率は

問 障がい者雇用について、町役場の雇用率はどのくらいか。

答 現在は雇用していない(0%)。

外国人の労働者数は

問 町には外国人労働者はどのくらいいるのか。

答 正確な数は不明だが、少なくとも約30人いる。



たくさんの方にご参加いただきありがとうございました

【道の駅】今後の見通しは

問 道の駅の昨年度の決算が赤字であるが、今後の経営面の見通しはどうか。

また、物販部門や宿泊部門など様々な部門があるが、部門別の内訳を確認する必要があるのではないか。

答 物販部門は繁盛しているが、レストランの経営が厳しく、メニュー等について検討をしているようである。また、



道の駅の来場者の中には買い物をせずトイレなどを利用するのみの方が多い。黒字となるには3年ほどかかるの見込まれているが、今年の上半期は売り上げがよくなっている。

【道の駅村田】退出について

問 近くの村田インターチェンジでは、道の駅利用のために道路を降りても道路の料金が変わらないシステムである。国見町でもその制度を活用できるのか。

答 国土交通省では、ETC 2.0搭載車を対象に、道の駅への一時退出を可能とする実証実験を、インターチェンジからの距離が概ね1.0km以内の道の駅で行っている。今後制度化されれば順次導入されると考えられ、国見町では、国土交通省に対し、「道の駅国見」にも導入してほしいとの要望を伝えている。

【ハス池】公園の整備は

問 ハス池の公園が今後整備されるようだが、どのようなのか。

答 先日、阿津賀志山防塁調査・整備指導委員会より防塁整備基本計画の答申があった。駐車場やトイレの整備などを行う予定である。

【駅の整備】駅・駅前は今後どう変わるのか

問 藤田駅の改修は、駅舎だけなのか。また、駅前の駐車場や駅前倉庫はどのように変わるのか。

答 駅は、駅舎のみ改築の予定である。また、公園の土地を駐車場として整備し、20分まで無料で使用できる。駅前倉庫は、町が事業者へ貸し、民間事業者の持つノウハウや知見を活用した事業の展開を図ることにより、町の集客や雇用につながる。町は家賃収入を得る。

*当日に回答できなかったものも後日確認し掲載していきます。たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。全て掲載できないため、抜粋しています。

開催地区と参加者数

10月23日	小坂	19人
	森江野	10人
10月24日	大枝	7人
	大木戸	4人
10月25日	藤田	16人

